

## 平成 30 年度 第 1 回岡崎市図書館協議会議事録

- 1 日時 平成 30 年 8 月 9 日 午後 2 時～午後 4 時
- 2 場 所 図書館交流プラザ（りぶら）  
1 階 101 会議室
- 3 出席委員 竹下委員、中村委員、平岩委員、江良委員、  
山田委員、浦部委員、浅岡委員、横山委員

傍聴者 なし

説明のため出席した事務局職員

山本社会文化部次長、三宅中央図書館長、大山副館長、  
山本総務係長、天野資料提供サービス係長、  
上川畑情報サービス係長、山本資料提供サービス係主査  
杉山総務係主査

### 4 次 第

- (1) 社会文化部次長あいさつ  
山本社会文化部次長あいさつ
- (2) 委員紹介  
各委員自己紹介による
- (3) 会長及び副会長選出  
会長：竹下委員、副会長：中村委員
- (4) 会長あいさつ  
竹下会長あいさつ
- (5) 議事
  - ア 平成 29 年度の事業報告
  - イ 平成 30 年度の重点目標

ウ 平成 30 年度事業計画

エ 子ども読書活動推進計画推進計画（案）

オ その他

（6）その他

## 5 報告及び議事の要旨

### （1）平成 29 年度の事業報告

事務局より説明

（議長）

- ・ただいまの事業報告につきまして、何かご質問などございましたらご発言いただくようお願いいたします。

（委員）

- ・直接報告内容についてではないが、子ども図書室の資料で、例えば車に関するものなどは好きな子が多いためどんどん貸出されてしまう。児童の古い雑誌などは、自動書庫に入ってしまうとどのような内容のものがあるか分からない。自動車関連の児童雑誌など、職員に尋ねなくても分かるようなものがあると良い。

（委員）

- ・書籍消毒機はどのような仕組みで、どのくらいの頻度で使われているのか。

（事務局）

- ・紫外線をあてることで殺菌・消毒をする仕組みになっている。多くのかたに利用していただいている。

（委員）

- ・設置した理由は、利用者からの要望なのか、管理上必要であったためか。

（事務局）

- ・以前に市議会議員から要望が出されたという経緯があり、予算交渉の結果昨年度導入することができた。利用者から具体的な要望があったわけではないが、本の汚れが気になるという声は聞いていたので導入した。

(委員)

- ・公共のものは汚いという意識が過剰になってしまうことを懸念する。汚いという意識ではなく、汚さないという意識をもたせるようにしていく必要がある。
- ・インフルエンザの流行時などには、あった方が安心だと思う。
- ・消毒の効果が本当にあるのか疑問に思う。紫外線があたることによるデメリットを考え、慎重に行うべき。特に古い資料には使用してはいけない。

(委員)

- ・除籍資料の数は旧額田図書館分が多く含まれているのか。

(事務局)

- ・額田図書館移転により蔵書能力が低下したため、蔵書冊数を減らさなければならなかった。中央図書館に所蔵のないものは所蔵替えを行い、既に所蔵があるものや痛みの激しいものについては、やむを得ず除籍を行った。例年よりも除籍数が多いのは、旧額田図書館分が多く含まれているからである。除籍をした資料については、リサイクル資料として一般のかたにご利用いただくという方法をとっている。

(委員)

- ・地域図書室の除籍も中央図書館が行っているのか。

(事務局)

- ・中央図書館の職員が地域図書室に出向いて除籍対象資料の抜き取りを行っている。

(委員)

- ・中央図書館だけ入館者数が減っている。考えられる理由は何か。

(事務局)

- ・貸出冊数と入館者数が減っているのは、平成 28 年度はりぶらで市制 100 周年事業の開催があり一時的に増加したことと、平成 29 年度は図書館システム機器更新に伴う休館により、開館日数が例年より少なかったためと考えられる。

(委員)

- ・新額田図書館の利用はどうか。

(事務局)

- ・新額田図書館は複合施設ということもあり、図書館以外を目的に来られたかたにも寄っていただいている。実感としては 1.5 倍ほど増えている。

(2) 平成 30 年度の重点目標

事務局より説明

(委員)

- ・読書通帳機の現在の登録者数と、全体の登録者数に対する割合はどうか。中央図書館でしか記帳できないのか。

(事務局)

- ・平成 29 年 1 月 28 日から導入開始し、平成 30 年 7 月 31 日現在で 4,445 件の登録がある。そのうち 2 冊目以降の更新が 170 件となっている。全体の登録者からすると割合はまだ少ないが、子どもの読書活動推進ということで小学生、中学生を対象にしている。地域図書室で借りた資料も印字できるが、記帳ができるのは中央図書館のみとなっている。

(委員)

- ・読書通帳機は非常に面白いと思っている。読書通帳は個人情報にあたると思うが、多く活用している子どもの通帳を公開し利用促進を図ることなどは考えているか。

(事務局)

- ・通帳の中身は個人的な記録のため、こちらの管理ではなく個人の管理下におかれている。子どもたちが学校で自ら見せ合うこともあるようで、それを見た子どもが通帳を作成しにくるといった事例はある。

(委員)

- ・読書通帳機登録者のうち中学生の割合はどうか。

(事務局)

- ・統計としての数値はないが、大半は小学生である。

(委員)

- ・雑誌スポンサー制度の実績はどうか。

(事務局)

- ・現在は 6 者 14 誌がスポンサーになっている。

### (3) 平成 30 年度事業計画

事務局より説明

(委員)

- ・落花生（おちはないく）は普段どのようなことをしているのか。

(事務局)

- ・落花生（おちはないく）はティーンズコーナーのキャラクターであり、SNSで落花生（おちはないく）のアイコンを使用して投稿するなどして、独自のキャラクターとして親しみをもってもらえるようにPRしている。

(委員)

- ・SNSの投稿も10代の子が行っているのか。

(事務局)

- ・投稿は職員が行っている。10代の子が実際に行っているのは、「図書缶」の編集委員である。10代の子自ら編集委員として携わり、原稿をよせていただきながら作成している。

(委員)

- ・「図書缶」について、学校にも1クラス1冊ずつ配られているが、あまり手にとられていない。子ども達からの評価を聞いてフィードバックを行っているのか。編集委員の子ども達が、編集活動によって学びを得ることが目的なのか、中学生に本に親しんでもらうことが目的なのか、趣旨が曖昧になっていないか。

(事務局)

- ・岡崎市子ども読書活動推進計画（第3次）策定にあたり市内の小中高生に対しアンケート調査を行ったが、「図書缶を読んでいますか」という質問の回答から認知度の低さは実感している。この結果をふまえて編集委員の子ども達にも状況を伝えながら、認知度が定着するよう編集内容を考えていきたい。同世代による本の紹介は効果的であるという国の調査結果が発表されており、「図書缶」という情報紙をとおした10代の目線からの情報発信を大きな目的としている。

(委員)

- ・編集委員は固定で決まっているのか。
- ・編集委員以外でも、編集委員宛てに投稿した記事が掲載されることはあるか。

(事務局)

- ・編集委員はその都度、興味を持った子が自由に参加できるようになっている。
- ・ティーンズコーナーには書き込みノートが設置されている。そこに書き込まれた内容も参考にしながら、編集を行っている。

#### (4) 子ども読書活動推進計画（案）

事務局より説明

(委員)

- ・基本方針4「中央図書館と学校図書館とのネットワーク化の検討」とは、具体的にどのようなことか。
- ・事業番号28の学校図書館のデータベース化は必要なことだと思う。管理運営も簡素化でき、利用データも蓄積されるため読書指導に役立てることができる。しかしネットワーク化については、学校側としては中央図書館のデータのみあれば良く、必要性を感じない。

(事務局)

- ・基本方針4は中央図書館と学校図書館、あるいは学校図書館同士の体系的なネットワーク化を想定しているが、まずは学校図書館のデータベース化が先であり、ネットワーク化については取り組みの有無も含めた方針の決定を達成基準としている。

(委員)

- ・事業番号83の学校図書館のテーマ展示等支援はとても良いと思う。図書館職員が学校図書館に向けた研修を実施していただくとありがたい。

(事務局)

- ・開館時間や休日の縛りがあるなかで学校図書館へ出向く人員を確保するのは難しいが、要望をいただいたので今後検討していく。

(委員)

- ・研修について、学校側に体制が出来ていない中で行っても意味がないと思う。
- ・司書教諭がしっかりと配置されている。
- ・司書教諭や教員補助者ではなく、学校司書を配置することが第一である。事業番号29で新規事業として学校司書の配置検討をあげているが、検討ではなく実施に向けて取り組む段階でなければいけないのではないか。

(事務局)

- ・いただいた意見をもとに協議していきたいと思う。

(委員)

- ・事業番号103「自主財源確保のための取組・検討」について、目標達成時期を平成35年度としているが、なぜ5年も必要なのか。

(事務局)

- ・基金が設立できるのか否かというところからの検討になるため、このような目標設定をしている。

(委員)

- ・取組内容をみると、図書館で不要になった資料の活用と、基金の設立が並列になっているがどういう意味か。資料を売って基金にするという意味合いか。

(事務局)

- ・リサイクル図書の活用は、基金の設立とは別に検討している。他市の事例として、リサイクル図書をボランティア団体が販売し、その収入で購入した図書を寄贈していただくという取組を行っているところもある。少しでも蔵書を増やすため、基金だけでなくこのような様々な手立てを考えていきたいということで併記している。

(委員)

- ・これまでリサイクル図書の販売に関してはL S Cからも提案していたが、これからは検討していただけるということか。

(事務局)

- ・図書館だけで出来ることではないため、ボランティア団体と検討しながら考えていきたい。

(委員)

- ・事業番号 68「ティーンズ向けイベントの実施」について、具体的な取組の数が少ないように感じるがどのように考えているのか。
- ・中高生はなかなか読書をしてくれないので、イベントにも来てくれないかもしれないが、粘り強くやってほしい。

(事務局)

- ・今回は新規事業として載せているため数が少なく感じるかとは思いますが、図書缶の発行やSNSの活用など、これまでの継続的な取組も引き続き実施していく。今後、今までやっていないことにも積極的に取り組んでいくことで、イベントも増えていくと考えている。

(委員)

- ・学校司書の必要性について、教育委員会など学校図書館関係者の認識がしっかりしていないと思う。図書館司書は、本のある環境を与えるだけではなく、どのように本を提供するかということも常に考えなければいけない大変な仕事であると考えている。まずは関係者が、学校司書の仕事に対して正しい認識を持ち、真剣に向き合うということが重要であると感じた。

(5) その他

(事務局)

- 平成 30 年 3 月 28 日に文科省の大臣賞「子どもの読書活動優秀実践図書館」の被表彰館ということで当館が選ばれた。平成 13 年 12 月に公布施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づいて、文科省が平成 14 年度から子どもの読書活動に対し優れた実践を行っている学校、図書館、団体等に対して表彰しているものであり、本館のティーンズコーナーやティーンズルームの設置、図書缶の編集発行など、中高生向けの図書館サービスに対して先進的な特色ある取組ということで選ばれている。
- 事前の質問事項について説明させていただく。
- 図書館の理念について、現在明文化されている考え方は「岡崎市の図書館概要」表紙の見返し部分にある「岡崎市中央図書館のあり方」に記載されている。平成 16 年に策定された岡崎市新図書館基本計画から取り上げ運営方針としている。生涯学習の基盤として、市民の知的活動と創造的文化活動を支援できる新図書館を目指して、りぶらの中に新図書館が作られ、各種図書館事業を行ってきた。公共図書館は地域において市民が知識を得る場所であり、子どもたちが幼いころからの読書習慣の形成という役割についても担っている。今年度はオープンから 10 年となるので、将来に向けた図書館の基本計画を策定していくという考えをもっている。準備を進めていくなかで、理念についても改めて検討していきたいと考えている。

(議長)

- その他事前質問以外で質問などはよろしいでしょうか。それではご議論いただきありがとうございました。議事は全て終了しましたので、これにて進行を事務局へお返しします。



## 平成29年度岡崎むかし館事業報告

## 常設展示・企画展示

テーマ	内容	期間	入館者数(日数)
【常設】道具に見るむかしの暮らし	衣食住にまつわる代表的な道具を取り上げ、道具の変化から暮らしの移り変わりを提示	通年	-
【常設】土地の記憶	中央図書館所蔵の絵葉書を月替わりで展示	通年	-
【企画】昭和の岡崎スケッチ	西岸寺(康生通南)住職の早川円浄先生の割箸ペン画色紙絵と所蔵写真で昭和の岡崎を紹介	29年3月23日(木)～5月23日(火)	12,813人(55日)
【企画】夏の道具	高温多湿の日本の夏を道具で「涼しげ」に過ごす昔の暮らしの知恵や工夫を紹介	29年5月25日(木)～9月5日(火)	24,580人(90日)
【企画】書く道具	学校や職場、家庭で使われていた少しむかしの「書く」道具とあわせて筆記具の変遷を紹介	29年9月7日(木)～12月24日(日)	19,141人(94日)
【企画】冬の道具	日本の厳しく寒い冬の暮らしにおいて、体も心も「暖をとる」道具を紹介	30年1月4日(木)～3月27日(火)	18,311人(73日)
【企画】むかし館のひな飾り／ひなまつりスタンプラリー	季節展示として、ひな飾りや郷土玩具を展示／ひなまつりスタンプラリーへの参加(愛知県内博物館施設等で合同開催)	30年2月3日(土)～3月11日(日)	[展示期間重複]

## その他関連事業等

催事名(内容)	会場	日時/開催期間	参加者数
講座「岡崎風土記」 信仰からひもとく岡崎	りぶら 101号室または 103号室	29年4月24日(月)、6月26日(月)、9月25日(月)、 11月27日(月) 共通/10時～11時30分	143人
夏休み子どもイベント 「岡崎むかし館クイズラリー」／「社会科自由研究相談会」	岡崎むかし館	29年7月23日(日)・24日(月) 10時～11時30分/14時30分～16時	クイズラリー225人 ／相談会32件
社会科研究作品展 (夏休み自由研究成果の展示)	りぶら ギャラリー	29年9月30日(土)～10月10日(火)	-
社会科研究作品発表会 (優秀作品出品児童による成果発表)	りぶら 103号室	29年10月7日(土) 10時～11時30分	50人
むかし遊び	岡崎むかし館	第3日曜日	474人
むかしばなし・紙芝居	岡崎むかし館	第4木曜日(8月、12月を除く)	150人

## 学校等支援状況

内容	件数
社会科見学及び出前授業	28件
見学及び出前講座（学校以外）	1件
収蔵資料等の貸出	12件

## 資料制作状況

内容	件数
「社会科研究作品展・発表会」記録誌	500部制作（出展者及び小中学校）
チラシ「学べる道具」	不定期発行（来館者向け）

## その他

内容	実施期間	実施期間／回答数
『岡崎むかし館』に関するアンケート（eモニター制度を利用）	29年7月18日（火）～7月27日（木）	409名中169名

岡崎むかし館入館者数



平成30年度重点目標

目標項目 (何を)	達成方法 (どのように)	目標達成基準 (どの程度まで)
第三次岡崎市子ども読書活動推進計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> <li>①策定委員会を設置し関係部署と協議する</li> <li>②委託業者と契約、スケジュール確定する</li> <li>③アンケートを実施し素案策定する</li> <li>④外部有識者、パブリックコメントによる意見聴取をし、計画修正し策定する</li> </ul>	<p>計画を策定し、冊子にまとめる</p>
りぶら開館10周年記念・菅江真澄没後190年記念シンポジウム「ふるさと岡崎・菅江真澄再発見」を開催し、郷土コレクション及び菅江真澄についての周知を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>①関係機関へ通知・周知を行う</li> <li>②報道機関を積極的に活用して広報・周知を行う</li> <li>③講師、関係者、会場設置運営業者と打ち合わせを行い、詳細スケジュールを調整する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員180名の6割の入場者</li> <li>・市外からの参加者が、参加者の1割</li> <li>・菅江真澄内田文庫についての認識が高まる</li> <li>・テレビや新聞などの取材があり、3社(紙)で報道される</li> <li>・記念冊子を100部作成し、納本する</li> </ul>
読書通帳機の利用対象拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>①運用の調整</li> <li>②利用要綱の整備</li> <li>③実施時期の決定</li> <li>④周知の実施</li> </ul>	<p>読書通帳機登録者の増加</p>
障がい者対応における図書館窓口サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>①委託業者と協議する</li> <li>②図書館スタッフへの研修会を企画</li> <li>③障がい者サービス対応窓口を設置する</li> <li>④コミュニケーションボードを作成する</li> </ul>	<p>図書館職員、委託業者スタッフの障がい者サービスに関するスキルアップと環境整備により円滑なサービスを実施する</p>
地域（郷土・行政）資料が充実し、郷土資料と写真がインターネットを通して資料閲覧ができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>①古書目録等からの資料調査</li> <li>②他図書館への資料提供依頼</li> <li>③市政情報コーナーからの資料収集</li> <li>④未整理資料を整理し、フォトギャラリーに追加するとともに、平成29年度に整理したものをシステムに登録する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資料購入費の1割10万円程度の古書の購入</li> <li>・岡崎市の発行した行政資料の積極的な収集</li> <li>・未整理写真を整理して、フォトギャラリーへ追加</li> <li>・デジタルアーカイブとフォトギャラリーの館内公開及びホームページ公開</li> </ul>
雑誌スポンサー制度の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>①周知方法の検討</li> <li>②実施時期の決定</li> <li>③関連業務の整理、業務分担の明確化</li> </ul>	<p>雑誌スポンサー制度の利用の増加</p>

## 平成30年度事業計画

## 講座事業

事業名	実施時期	講座内容
法律セミナー・データベース「D1-Law. Com」利用講座	11月18日	弁護士による解説と、データベース「D1-Law. Com」の使い方説明会
データベース「ルール電子図書館」利用促進セミナー	3月2日	データベース利用活用セミナー「野菜づくり講習会」開催
読み聞かせボランティア養成講座	10～12月 (5回)	中央図書館子ども図書室でのおはなし会を行う上で必要となる読み聞かせの基本的な事項について学ぶ。
ストーリーテリングにおいてよ！ボランティア養成講座	5～6月 (3回)	絵本を使わずおはなしを語るストーリーテリングについて、実践する上での基本的な事項について学ぶ。
ブックスタートボランティア養成講座	5～7月 (4回)	ブックスタートボランティアとして活動するための基本的な事項について学ぶ。

## ビジネス支援事業

事業名	実施時期	講座内容
ビジネスセミナー	2月	日本政策金融公庫、オカビズ、岡崎商工会議所と共催してビジネス関連のセミナーを開催

## テーマ展示

事業名	実施時期	内容
テーマ展示	年8回	時事問題や季節に応じたテーマを選定、関連資料を集め、ポピュラーライブラリーテーマ本コーナーで展示・貸出
子ども図書室テーマ展示	年7回	
ティーンズコーナーテーマ展示	年10回	
ビジネステーマ展示	年6回	ビジネスコーナーのテーマを選定、関連資料を集め、レファレンスライブラリーのビジネスコーナーで展示・貸出
高札展示	毎月	レファレンスライブラリー資料から選定、レファレンスライブラリーの高札コーナーで展示・貸出
1階展示	毎月	問題提起をテーマとし、レファレンスライブラリー資料から選定、レファレンスライブラリーの1階展示コーナーで展示・貸出
ガラスケース展示	年6回	レファレンスライブラリーのガラスケースコーナーで郷土資料を展示

## 読み聞かせ

事業名	実施時期	内 容	その他
赤ちゃんからの読み聞かせ	毎週火・木	赤ちゃんを対象としたボランティアによる読み聞かせ	中央図書館
3さいからの読み聞かせ	毎週土	ボランティアによる読み聞かせ	中央図書館
おはなしと紙しばいの会	毎週月・木	職員による読み聞かせ	中央図書館
ストーリーテリングにおいでよ!	毎月第4土	ボランティアによるストーリーテリング(絵本を使わずにお話を語る)のおはなし会	中央図書館
外国語の読み聞かせ	土(月1回)	英語、ポルトガル語、中国語のローテーションでボランティアにより実施	中央図書館
0・1・2おはなし会	毎月第3木	額田図書館職員による読み聞かせ	額田図書館
絵本のおはなし会	毎月第2土	額田図書館職員による読み聞かせ	額田図書館
おはなしの森 コロボックルおはなし会	毎週火	ボランティアによる読み聞かせ	南部市民センター図書室
お話と紙しばいの会	毎週日	南部市民センター職員による読み聞かせ	南部市民センター図書室
おはなし・グーチョキパー おはなし会	毎月第1・3金	ボランティアによる読み聞かせ	東部市民センター図書室
六ツ美おはなしの会 おはなし会	毎月第1土	ボランティアによる読み聞かせ	六ツ美市民センター図書室
おはなしポケットやはぎ おはなし会	毎月第1・3土	ボランティアによる読み聞かせ	矢作市民センター図書室
とんとんひろば おはなし会	毎月第2金	ボランティアによる読み聞かせ	矢作市民センター図書室
お話しの会おひさまパン おはなし会	毎月第3 火・4土	ボランティアによる読み聞かせ	岩津市民センター図書室
おはなし・ほたる おはなし会	毎月第1・3木	ボランティアによる読み聞かせ	大平市民センター図書室
おはなしあっぷっぷ おはなし会	毎月第4金	ボランティアによる読み聞かせ	げんき館情報ライブラリー

## ブックスタート事業

事業名	内 容
ブックスタート	<p>生後4か月から1歳6か月未満の赤ちゃんとその保護者に対して、一組ずつに読み聞かせと絵本のプレゼントを行う。</p> <p>&lt;時期&gt;</p> <p>1歳6か月健康診査会場(岡崎げんき館)…火・水・金曜日            中央図書館 子ども図書室おはなしのへや…月・木曜日他            額田図書館…偶数月第一木曜日            南部市民センター図書室…奇数月第一木曜日</p>

## イベント事業

事業名	実施時期	内 容
りぶら開館 10 周年記念 菅江真澄没後 190 年記念 ふるさと岡崎・菅江真澄再発見	6 月 2 日	りぶら開館 10 周年を記念し、菅江真澄内田文庫の菅江真澄の講演会と真澄と真澄が暮らしたふるさと岡崎のシンポジウムを 2 部構成で開催
図書館まつり	7 月 27 日 ～29 日	読み聞かせ、パネル展示、ぬいぐるみおとまり会、朗読会、ふるさとかるた、図書館スタンプラリー等
シネマ・ド・りぶら開催支援	年 8 回	図書館所蔵資料を活用した映画上映と関連資料の展示。りぶらサポータークラブとの共催事業
子ども読書の日記念イベント	4 月 19 日 ～29 日	子ども一日図書館司書 一枚の紙のできるいろいろあそび絵本 ころころくまさんおはなし会「わたしのすきなもの」 おはなし会「春のおはなし会」 ストーリーテリングにおいでよ！「春のおはなし会」
子ども図書室夏休みイベント	7 月 14 日 ～ 8 月 31 日	第 21 回「図書館を使った調べる学習コンクール」入賞作品展 子ども一日図書館司書（3 日） 夏休み読書・自由研究相談（9 日） 夏休み科学あそび講座（1 日）
りぶらまつり 2018	11 月 10 日、 11 日	図書館バックヤードツアー外
子ども図書室冬休みイベント	12 月 (2 日間)	クリスマスのおはなし会
図書館福袋イベント	1 月 (2 日間)	中身が見えないように本を包み、貸出す

## 岡崎むかし館管理運営事業

事業名	実施時期	内 容
むかし館企画展示	年 3 回	
むかし館見学	随時	小学生のむかし館見学
社会科自由研究相談	7/22, 23	社会科教諭による社会科自由研究の相談会
社会科研究作品展		展示(9/29～10/9)、優秀作品発表・表彰(10/6)
体験講座「触れてみよう、遊んでみよう、むかしの道具」	月 1 回 第 3 日曜	けん玉、お手玉など、懐かしい遊びに挑戦
むかし館で楽しむ「むかしばなし・紙芝居」	月 1 回 第 4 木曜	「岡崎むかし語りの会」によるむかしばなしと紙芝居。

## その他図書館事業

事業名	実施時期	内 容
図書館総合展参加	10月30日 ～11月1日	図書館キャラクター・グランプリに「落花生」 参加エントリー
図書館見学	随時	小学生の図書館見学
職場体験		中学生の職場体験受入
教員研修	夏休み期間	新任者及び採用10年目の教員研修受入
図書館実習		司書講習における図書館実習生、またはインターンシップ生受入
蔵書点検	1月	特別整理期間中に中央図書館資料の蔵書点検 の実施
地域図書室の蔵書点検	10～11月 (予定)	年3か所程度実施